

福地城(県指定史跡)(伊賀市柘植町)(芭蕉公園)

福地城は西に石垣の門をもち、四方土塁の掻揚げ式の城である。

本丸内部には、石蔵跡や井戸が残り、周囲には、館跡、堀跡が現存する伊賀随一の中世の城跡である。

城主は福地伊代守宗隆で、『満濟准后日記』に日置、北村と共に柘植三方と呼ばれ、当地方の国人であった。

芭蕉翁の先祖は福地氏の一族であるので、この城跡を芭蕉公園と名付け句碑及び生誕碑を建て後世にとどめることにした（『城址案内板』）

城跡は芭蕉公園となっている。石垣は表門付近しか残存しないが、土塁、堀跡など遺構は十分楽しめる。

「城と古戦場」による

